研究会だより

会長挨拶

株式会社　三東工業社
代表取締役　奥田　克実

みなさまこんにちは。

まずは東北地方の豪雨による被害、台風一〇号の大雨による土砂災害など、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

私は年々厳しくなる暑さに耐え、次々に起こる、「今までにない」と報道される災害に心を傷めながら、この夏も過ごしてまいりました。

そのような中、八月には南海トラフ地震臨時情報が発令されました。いつかやってくると思っていた地震がとうとう襲いかかってきたと、身の引き締まる思いを致しております。もし、南海トラフ巨大地震が発生した場合、北関東から九州まで、国内のほとんどの地域で甚大な被害が出ると予想されており、被災後の復旧活動には能登半島地震と同じく、インフラ被害が大きな障害となることは明らかです。

その能登半島地震ですが、現在復興が遅れている状況です。全半壊の建物二万四千棟のうち、公費解体の申請件数が一万六千二百四十棟あり、その工事の進捗率は七月中旬時点でわずか〇・六％です。より被害が大きかった熊本地震が震災後五か月で公費解体一二％を達成したことと比べても、憂慮すべき状況です。

その進まない復旧の中で、この七月に政府が能登半島地震の復旧復興に向け、五三九億円の復興基金を創設する方針を発表しました。市町村には九月議会以降に順次予算化されていきます。今後は国制度の隙間となっている被災者や被災事業者の支援などに活用され、住宅や建物の復旧が少しでも加速化することを期待しています。

一方修復に関しましては当研究会会員みなさまのご尽力のおかげで、個人住宅や公共施設の修復をはじめ、工場内設備など、液状化により沈下した沈下修復工事を施工いたしました。件数の実績は一六件で、こちらも早いとは言えない状況ですが、復興に向けて微力ながら動いている状況です。

このように震災の復興活動を行う中で当会の認知度も徐々に上がってまいりましたが、今後も引き続き展示会やイベントの出展などを計画し、能登半島地震の復興はもちろんのこと、これから起こるであろう災害に対し耐震や修復等の準備としてさらに積極的に広くＰＲを行って参ります。

災害を止めること、なくすことは私達にはできないことですが、災害が起こったとき、それに耐えうる建造物を増やし、整備していくこと、そして被災地域を一日でも早く復興させ、人々が安全に安心して暮らせるように、私達も地域の守り手として、これからも力を合わせ日々地道な努力を重ねてまいりましょう。

みなさま今後ともよろしくお願いいたします。

震災復旧レポート

現場概要
件名　伏木駅前トイレ修復工事
期間　令和六年七月一日～八月八日
場所　富山県高岡市伏木町地内
内容　構造物面積　約五〇㎡
沈下量　最大二九九ミリ
耐圧版工法（ソイルバッグ併用）二四箇所
ソイルバッグ　二～六段設置
反力　六五～九三ＫＮ／箇所
埋戻し流動化処理土約四〇㎥

Ｂｅｆｏｒｅ

現場は、今年の一月一日に発生した能登半島地震で被災した高岡市伏木駅前ロータリーに設置された公衆トイレです。

北東にある富山湾と南東に走る小矢部川に囲まれ、富山県でもこの伏木地区は、道路や住宅など液状化被害が大きく、住民の流出が深刻化している地域でもあります。

対象構造物は、短辺の六ｍで約三〇〇ミリの沈下量と二〇分の一の傾きを有しており、液状化の大きさが伺えるかと思います。

この様な設備の構造物は、液状化で変わってしまった道路のレベルや配排水勾配なども配慮して計画 を立てる必要がありました。

また、液状化は、地震が生じることで地中の水圧が上昇し、安定状態にあった土粒子の結びつきが弱まり地盤は水と土に分離し、重い土は沈み、軽い水は浮上するため、従来より水位が高くなっている現象が起こります。

そのため、本現場は、事前に仮設工事として水替え工（ウェルポイント工）を施し、構造物下での作業性と安全性を確保しました。

対象構造物下の地盤には元々浅層改良が施されており、その改良体を斫りながらの掘削、且つトイレということで給排水配管が構造物下及び周囲に縦横無尽にあるため、ジャッキアップ時に破損しないよう丁寧に掘り出ししないといけないのが一番のポイントでした。

建物下掘削状況

耐圧版と併用したソイルバッグ工法は、水（水圧）をよく吸収し、ソイルバッグ直下から圧力球根状に局所的に圧密させて直下の地盤を速やかに育成強化し、地盤の支持力を増大させて沈下量を減少させる局所圧密・強化作用の役割を果たします。

地盤データの判断にはなりますが、鋼管杭を使用するアンダーピニング工法より安価にジャッキアップできる工法です。再地震対策の有効性の相談にはなりますが、当研究会の能登半島地震の復旧工法としては比較的多く採用されております。

今回、既存の浅層改良を一部利用する計画でしたが、実際の現場状況と相違があり、若干のソイルバッグの設計変更を余儀なくされました。

変更にも現場側は、臨機応変に対応し、予備日含めた予定工期内で納めて頂けました。

耐圧版工法（ソイルバッグ併用）

ａｆｔｅｒ

建設技術展示会出展

フクイ建設技術フェア二〇二四
九月四日～九月五日
福井県産業会館
協会員（太洋基礎工業株式会社）のブースに協賛で出展しました。

協会カタログ

能登震災復旧復興の事も有り、来場者には思っていた以上に関心を持っていただいたことが印象的でした。

私たちの技術が復興の一助となれば幸いです。

すいへいくん展示

出展予定

建設技術展二〇二四近畿、
十一月七日～八日、
インテックス大阪

建設技術フェア二〇二四ｉｎ中部
十一月二八日～二九日、
ポートメッセなごや

※　何れも福井同様に協賛で出展です。

発行
構造物修復工法研究会
本部・東日本支部
（太洋基礎工業㈱東京支店内）
東京都品川区南大井五－二七－一七
℡〇三－三二九八－三三四四

中日本支部
（太洋基礎工業㈱名古屋支店内）
名古屋市中川区柳森町一〇七
℡〇五二－三〇四－八八二〇

西日本支部
（太洋基礎工業㈱大阪支店内）
大阪府高槻市五領町二〇－八
℡〇七二－六六九－〇一三一

会員紹介

研究会の目的の一つであります会員同志での協業によるシナジー効果を目指し、紙面にて順次会員の紹介をさせて頂きます。気になる技術や相談がありましたら、紹介協会員の担当者へ問い合わせ願います。

会員紹介①

社　名　北陸エースコン株式会社
住　所　本社　〒九二〇―一三〇三
　石川県金沢市辰巳町ロ二一番地
ＴＥＬ　〇七六―二二九―〇〇五〇
ＦＡＸ　〇七六―二二九―一九〇八
事業所　関東・東北
代表取締役　辰野　智規

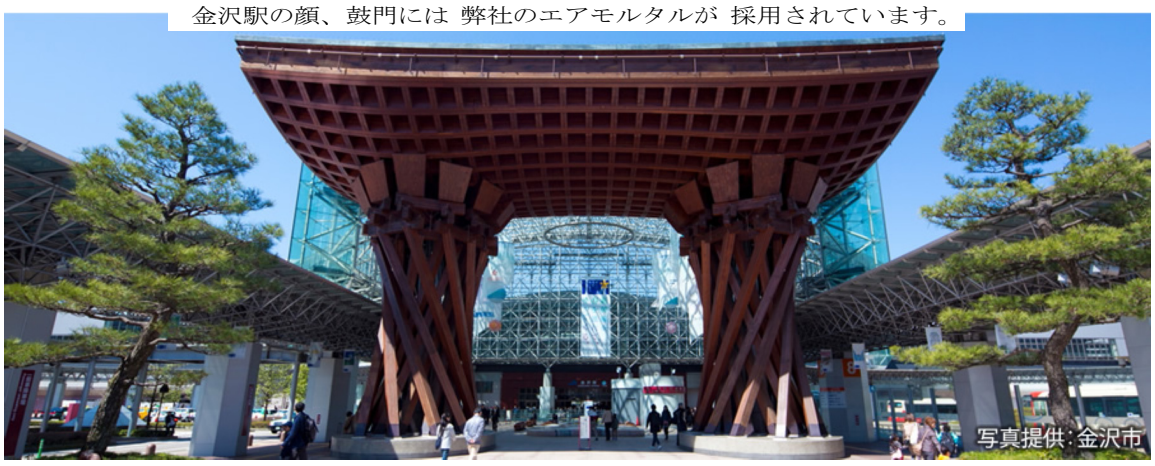
【営業品目】
・エアモルタル・裏込め注入工（可塑性グラウト、発泡ウレタン）
・軽量盛土ＦＣＢ工法
・流動化処理土製造打設
・土質改良工（固化材・特殊粉体（放射能吸着材）移動式・固定式混合攪拌）
・ベントナイト混合土遮水工
・地盤（宅地・店舗等）の調査・改良補強・保証
・土木資材販売・クリアモールド製造販売

【経営理念】
全社員の豊かさを高め、幸せを実現します。
「技術力ナンバーワンを目指して、お客様と共　に歩みます。」
「全国の安心・安全な環境作りに貢献します。」

【ＵＲＬ】
https://www.hatt-community.co.jp/

弊社は一九三七年に土木工事業として創業し、一九七二年に法人化され今年で五二期となります。
当社は創業時から地元金沢の発展と金沢当社付近エリアへのインフラ普及・貢献を第一に土木工事業・コンクリート製造業を営んでまいりました。
一九九七年に三つ目の事業としてエアモルタルや流動化処理土を扱う専門工事業を営業開始し、現在にいたります。
現在、当社のご提案している上記の特殊技術・商品は、充填技術と混練技術の応用から地盤補強・耐震補強などあらゆる分野の機能向上に貢献しております。
当社は工法の改善や新分野の技術開発、自社技術の更なる向上・人材育成に注力し、お客様の多様化するニーズや高度な技術革新に応えてまいります。

金沢駅の顔、鼓門には 弊社のエアモルタルが 採用されています。



構造物修復工法研究会に入会させていただき、これからもわたくしたち北陸エースコンは、皆様と共にビジョンを共有する企業として、技術力ナンバーワンを目指してお客様・研究会会員様と共に歩み、全国の安心安全な環境作りに貢献する決意でありますので、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員紹介②

社　名　太洋基礎工業株式会社東京支店
住　所　東京都品川区南大井五―二七―17　イマス南大井ビル
ＴＥＬ　〇三―五七五三―一二九一
ＦＡＸ　〇三―五七五三―一二九三

【部署】
工事部・環境開発部・営業部
埼玉営業所
東北営業所
関東機材センター
千葉出張所

【経営理念】
働いて良かったといえる職場づくり
社会に存在価値のある職場づくり

【URL】
http://www.taiyoukiso.co.jp/

東京支店

当事業所は平成六年十一月に新設されました。後に昭和六一年九月に新設された横浜営業所を平成十一年六月に統合しました。
工事部は民間及び公共事業の大型重機土木、薬液注入、推進工事を施工管理しております。環境開発部、埼玉営業所はハウスメーカーの基礎補強工事、土壌浄化工事の施工管理をしております。東北営業所は太陽光発電所関連、風力発電所関連、建物修復工事の施工をしております。
平成二三年三月十一日に発生した東日本大震災では関東地方でも多くの建物被害が有り、ハウスメーカー及び設計事務所より建物修復工事依頼が来ました。発生から三週間後には一件目の工事を着手し余震が有る中で進めました。作業員を全国から集め指導しながら十一か月間で約六〇棟の修復工事を施工しました。
一番印象に残っている現場は津波により傾いて解体を決めていた施主様にハウスメーカーの責任者が『必ず直します』と約束し無事にほぼ水平に戻した瞬間、涙を流して喜んでいただいた光景を今でも忘れません。これこそ究極のリサイクルだと確信しました。
最後になりましたが、当研究会各社様の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

関東機材センター

太洋基礎工業株式会社　東京支店
副支店長兼東北営業所所長
大内　和彦

お見舞い

令和六年九月二一日に発生した奥能登豪雨災害により、被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。
本年元旦の能登半島地震で大きな被害を受け、復旧に向け必死で取り組んでいた最中での豪雨被害は、計り知れない困難をもたらしていることと存じます。
被災地の皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます

正会員

東日本支部

（有）　Ｋ　工　業
TEL　024-563-7745

（株）　江　機
TEL　03-3857-9870

太洋基礎工業（株）東京支店
TEL　03-5753-1291

（株）テノックス
TEL　03-3455-7792

横浜ライト工業（株）
TEL　045-355-5500

アンダーピニング工法での
施工事例（支持架台設置状況）

中日本支部

（株）アップルハウス
TEL　052-726-5246

（株）グランテック
TEL　0766-91-6111

（株）サン・エンジニア
TEL　0776-83-1802

勢州建設（株）
TEL　059-382-5577

太洋基礎工業（株）名古屋支店
TEL　052-362-6352

（株）タケモト
TEL　0562-34-3884

西日本支部

（株）ケンシンテクノ
TEL　089-976-6444

（株）三東工業社
TEL　077-553-1111

太洋基礎工業（株）大阪支店
TEL　072-669-0126

大栄テックス（株）
TEL　0747-32-8300

（株）南陽建設
TEL　0967-67-0024

賛助会員

（株）アイテムボックス
TEL　052-798-9901

（株）ＫＧフローテクノ
TEL　03-6402-5408

（株）三興商会
TEL　06-6538-3671

三和機材（株）
TEL　03-6891-3456

ソーダニッカ（株）
TEL　052-561-9421

長野油機（株）
TEL　045-934-2555

日邦電機（株）
TEL　06-6452-1118

北陸エースコン（株）
TEL　06-6452-1118

（株）ムラアーカム
TEL　0567-55-3111